

南魚沼市議会
塩谷議長 殿

令和5年2月11日
南魚みらいクラブ長
吉田 光利

南魚みらいクラブ政務調査報告

1. は日 時 令和5年2月8日～10日（10日は帰省）
2. 視察先 ①京都市 京都市立凌風学園
②徳島県上勝町 落合集合住宅
3. 参加者 南魚みらいクラブ 関議員 黒滝議員 小澤議員 清塚議員
塩川議員 桑原議員 目黒議員 吉田議員記
4. 目的 ①人口減少による少子化が進む中、第二次学区再編検討会議が始まっている。京都市の小中一貫教育を中心とした統合の取り組みを学ぶため。
②学校統合等に伴い廃校利用50選になっている。住宅利用の調査。
5. 調査内容

「1日目」 2月8日 14時00～16時20分

○「京都市立凌風学園」調査

- ・京都市・京都市立凌風学園出席者
岩佐学園長 教育委員会 初田参与 教育委員会 下山計画課長

■概要

- ・京都市街の中心地に位置する義務教育学校。2012年4月1日に京都市立陶化中学校、京都市立陶化小学校、京都市立東和中学校、京都市立東和中学校、を、一体化し、9年間の小中一貫校として設立された。
- ・敷地は陶化中学校、東和中学校、
- ・学園数 男子 352 女子 338 合計 690 学級数 29
(令和4年10月11日現在)

■説明及び施設見学及び質疑内容

冒頭校長先生よりご挨拶いただき、南魚沼市の概要説明を兼ねて吉田より挨拶を申し上げ後、校長先生よりパワーポイントを使い丁寧に説明いただいた。まず、「子供をしっかりと育めば未来が明るい」「まちづくりは人づくりから」の下、歴史的に町内が協力し合って進めている。近年の子供達は心身の発達が早期化してきている。社会的背景から、急速に小中連携・一貫教育の動きが加速された。小中一貫教育が、学びと育ちの連続性、子供達を軸にした滑らかな接

続ができる。全職員が9年間の学びに責任を持ち、小中9年間の地域含めたつながりができる。

ステージマネージャー(ステージの取りまとめ)1年~4年、5~6年、7年~9年、第1ステージから第3ステージ毎にまとめ意識が図られ、1年から9年生まで一緒の連帯感から、コミュニケーションがとれており、いじめは全くないとのことである。

(抜粋質問)

Q5年生から中学1年レベルの勉強を取り入れている。第3ステージについてどのようになるのか。

A 余裕の人間形成及び学力強化も図られる。

Q 学園数も年々人口減に伴い減少が続いているが今後の予測はどのように考えているか。ついては

A 直近5~6年は見えるが、以降については未だ見えていない。

(施設案内)

全施設案内戴いたが、掃除も行き届いて清潔な綺麗な校舎である。またステージ毎の区分がうまく、色分け等工夫されている。在日外国人も多い背景があり、言語教育専門教室を設けてある。ステージ毎の食育コミュニケーションの場として立派な食堂には驚かされた。

■所感

・豊富な資料の下、詳細に渡って予定を超える時間でいろいろと学ばせていただいた。ただ、子供が少ないから統合でなく、「どういう教育をするか」を第一に考えることが大事と感じ、9年間一緒に学ぶことは、子供達にとって教職員にとってもコミュニケーションのメリットは大変大きいと感じ、また、卒業式・入学式を例にとれば各1回のみで、その他経費面も効果は大きい。課題は行事の調整、保護者のギャップ解消、校長の負担が上げられるが、一貫教育の取り組み検討は価値があると思う。

■その他

・京都市議会寺田元議長と桑原議員のつながりで、京都市の議場を見学させていただいた。歴史ある威厳ある建物で議場内をリフォームされた。歴史の重みを活かしながら、温故知新リニューアルは圧巻であった。



(議場リニューアル資料)

「2日目」 2月9日 15時30～17時20分

○徳島県上勝町 落合集合住宅調査

出席者 林副町長 合同会社パンゲア 野々山様

■概要

徳島県上勝町は、県庁から40km(車で50分)位置にある、地形的には四国山脈の南東山地にあり、東流する勝浦川は、深い渓谷をなし、その流域にごくわずかな平地が見られ、山腹斜面に階段場田畑があり、標高100mから700mの間に大小55の集落が点在、総面積109.63km² 山林の83%が杉を主体とした人工林で占めている。(人口1,422人高齢化率52.53%)

「ゼロ・ウエスト宣言」の下、ゴミの分けりリサイクル事業は全国的に有名となっている。

■説明及び施設見学及び質疑内容

林副町長より歓迎のあいさつをいただき、集合住宅地前広場屋外で、資料に基づき野々山様より説明いただく。

廃校を活用した定住促進の取り組みで、令和4年11月1日現在入居状況8世帯22人(うち子供8人)貸し事務所4社となっている。尚、残っている学校は、小学校36人 中学校17人(5年生は2人)複式学級でない。

廃校利用では文部科学省から全国の50選に選出されている。

耐震性の対策はできていないが、リフォーム工事には地元木材をできるだけ活用している。住宅家賃は21,000～30,000円、貸し住宅13,000～37,000円 改修費用は平成11年12年合計で1億9930万円 一般財源は120万円で他は起債及び補助金等から捻出している。

(施設案内)

住宅も満室のため、中の様子はわかりませんが、かなり年数が経った建物と感じた。共益費はなくて自分たちで回りの草刈等の管理をしている。

(抜粋質疑)

Q 学校建設時に補助金を活用したと思うが、他に再利用の場合返還金が発生すると思うが、どうして国を説得したのか。

A まさに地域住民と協議、交渉に交渉を重ねた結果で認めて貰い。結果 50 選にも選出されることになった。

Q 移住・定住が盛んにおこなわれているが、どういうことが要因か。

A 家賃が安いこともあるが、環境に配慮した取り組み、ゴミのゼロ・ウエスト宣言に共鳴し若者が移住している。また 合宿、研修に来た人が移住に結びついている。

Q 山間地であるが鳥獣被害はないのか

A 多く出ている。シカ一頭 2 万円、猪 3 万円、サル 5 万円で、引き取っている。



(廃校活用した資料)

■所感

・屋外広場での、立ちっぱなしの説明であり、進行上異常に感じたがよどみなく説明する野々村さんに引き込まれてしまう熱意を感じた。率直に申し上げて、廃校活用については、南魚沼市の活用も決して劣っている感じは全くしませんでした。国を動かして住宅活用を認めさせたパワー情熱には頭の下がる思いであり南魚沼市も学ぶものがある。

■その他

・上水道事業が無い。集落毎に湧き水をタンクにためて集落ごとに利用している。台風の時葉っぱがつまることがある。役場等公共利用は消毒している。話題になっている山の葉っぱの収穫で、最高に稼ぐおばあさんは年収 2,000 万円である。驚きの稼ぎである。

- ・集合住宅調査後、親切に全国的からの見学者が多くみられる。ゴミの分別 45 種類という驚異的な取り組みをしているリサイクルセンターを案内いただいた。結果、住民の理解と協力を得ながら、ゴミ焼却炉なしの運営が実現している。



(京都市立凌風学園会議室)



(京都市立凌風学園体育館)



(京都市役所議事堂)



(徳島県上勝町廃校活用 落合住宅前)



(徳島県上勝町リサイクルセンター)

■(まとめ)

- ・今回の南魚みらいクラブの政務調査については、第二次学区再編検討会のタイミングに小中一貫教育の調査、学校統合による廃校活用、ようやく見えてきたゴミ焼却炉問題に関連し、上勝町の分別によるリサイクルで、脱ごみ焼却炉の取り組みを勉強できたことは、中身の濃い政務調査と勉強ができ、今後の議員活動に生かしたい。最後に受け入れていただいた関係自治体及び当市議会事務局の皆様には、手続き等お難儀いただきありがとうございました。感謝申し上げます。

以上